

2024年7月16日

北海道木古内町教育委員会
公立はこだて未来大学
NTT コミュニケーションズ株式会社

北海道内初の産官学連携による教職員向け生成 AI 合同研修会を開催 ～授業での活用や校務 DX に向けた検討を支援～

北海道木古内町教育委員会(教育長：藤澤義博、以下、木古内町教育委員会)、公立はこだて未来大学未来 AI 研究センター(センター長：角康之)、NTT コミュニケーションズ株式会社(代表取締役社長：小島克重、以下 NTT Com)は、木古内町の教職員を対象に生成 AI 研修を実施します。

現在、「ChatGPT (チャット GPT)」など生成 AI が急速に進化する中、教育や研究の領域でも積極的に活用を試みるべきとされる一方、課題や有効な活用方法についても議論が始まっており、文部科学省の中央教育審議会では、初等中等教育分科会においてデジタル学習基盤特別委員会が設置され、今後、学校向けの「生成 AI ガイドライン Ver.1」が公表される見込みです。こうした背景を踏まえ、文章や画像、映像を自動で作成する生成 AI を学校現場でどう取り扱うべきか、教職員自らが知り、活用してみること、生成 AI を理解することが必要であると考え、下記日時に研修会を開催いたします。

なお、研修会の開催にあたり、文部科学省よりリーディング DX スクールに指定され生成 AI のパイロット校である札幌市立発寒東小学校の鳥丸俊郎校長、日本情報通信株式会社(代表取締役社長執行役員：桜井伝治、以下、日本情報通信)にもご協力いただきます。

1. 背景と事業目的

現在、木古内町には町立小・中学校が各 1 校ずつ設置されており児童・生徒 147 名が在籍しています。木古内町は、基本的な学習環境のみならず、プログラミングや最先端技術(3D プリンターなど)に触れられる環境も用意してきました。

一方で、教職員の働き方改革や部活の地域移行などの実現に向けた校務のデジタル化に取り組むことも急務となっており、生成 AI を活用した授業も全国のパイロット校から始まっている状況を踏まえ、木古内町でも生成 AI の活用に向けた検討を始めています。

そこで木古内町は、教育現場における生成 AI 活用のための第一歩として、教職員の AI に対するリテラシーを高め、正しく理解・活用・評価できるようになることを目的に、基礎知識の獲得と授業・校務での導入イメージを醸成することを目的とした教職員向けの研修会を実施します。

研修会は、AI リテラシーを高める研究成果を社会還元するために NPO 組織「[aiEDU JAPAN](#)」を設立し AI 技術やその扱い方について学習する機会を提供してきた実績を有する公立はこだて未来大学や、生成 AI を社内外に展開している NTT Com との連携により実施します。

2. 開催日程等

日時：7月23日(火) 13:30～16:00 場所：木古内町中央公民館 講堂

3. 当日の研修プログラム

時間	内容	備考
13:30	開会あいさつ	
13:35～14:05 (30分)	<講義①> 講師：日本情報通信 テーマ：生成 AI の概要を知る 内容： 1) 生成 AI の概要・全体像について理解 2) 実際に AI を使い、容易さとリスクを体感	場所：講堂
14:05～14:35 (30分)	<講義②> 講師：札幌市立発寒東小学校 校長 鳥丸 俊郎 氏 テーマ：実例を知る 内容： 1) 実際のカリキュラムの共有 2) 児童・生徒・保護者の反応の共有 3) 生成 AI、先端技術を教育現場で活用するための向き合い方、心構えを学ぶ等	場所：Zoom オンライン
14:35～14:40 (5分)	休憩	
14:40～15:30 (50分)	ワークショップ① 講師：aiEDU Japan テーマ：AI リテラシーを高める 内容： 1) AI について正しく理解し自分たち子供たちがどう向き合うべきかヒントを得る課題に取り組む 2) 他者の考えを聞くことで学びを最大化するグループワーク	場所：講堂
15:30～15:50 (20分)	ワークショップ② (グループ発表) 講師：aiEDU Japan テーマ：生成 AI 導入に向けての行動宣言	場所：講堂
15:50～16:00 (10分)	総括・閉会あいさつ	

4. 今後の展開

木古内町教育委員会は、教育現場での生成 AI の活用が進むことで、教育の質と効率が向上し、生徒の学習意欲や学力が一層高まることが期待されることから、教職員が生成 AI を効果的に活用できるよう、専門的なサポート体制を構築し、新しい技術や教育手法の導入に伴い、定期的な研修を実施して教員のスキルアップを図ります。また、AI が生成する情報やデータを批判的に評価し、信頼性を判断する力を育むため、教職員の情報リテラシーの向上にも努めます。

NTT Com および公立ほこだて未来大学は、木古内町における生成 AI を含めた先端技術の授業や校務での活用を支援するとともに、教育現場以外での ICT 活用を支援することで地域の魅力向上に貢献していきます。